

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成29年度）

(1) 組織・機構の見直し

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H29)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①組織の効率化・スリム化					
1 事務作業の見える化【担当部署:事務局総務課】					
業務基準書の作成	①業務基準書様式作成 ②様式に基づき職員個人毎に業務基準書作成 ③②で作成した業務基準書の改定	①H29年度9月末までに様式作成 ②H29年度末までに職員個人毎に業務基準書作成 ③必要に応じて業務基準書の改定	B	①平成29年4月末に様式作成、個人の「業務基準書」作成を7月末で依頼 ②平成29年9月末、個人の「業務基準書」作成(一部見直しあり) ③平成30年3月末、人事異動等に伴い、「業務基準書」の見直し実施	「業務基準書」の見直し実施
2 ICT(情報通信技術)の推進【担当部署:事務局総務課】					
1. ICTスキルアップ5カ年計画の策定	①ICTスキルアップ5カ年計画の策定 ②ICTスキルアップ5カ年計画の推進	①H29年度9月末までに5カ年計画作成 ②H29年度末までにH29計画の推進	E	①5カ年計画が作成できなかった。 ②スキルアップ研修が実施できなかった。 ③スキルアップ研修ニーズ調査を実施した。	①スキルアップ計画の作成 ②スキルアップ研修の実施
2. ICTの推進	①ICT推進委員会の開催 ②ICT研修会の開催	①平成29年度末までにICT推進委員会を3回開催 ②平成29年度末までにICT研修会を3回開催	B	①ICT推進委員会を4回開催(4月、9月(2回)、3月)情報セキュリティ関係協議 ②ICT研修会を開催(情報セキュリティ研修会を開催(事務局1回、隠岐病院1回、消防3回))	①ICT推進委員会を3回開催 ②ICT研修会を開催
3. 情報管理員の連携	①隠岐病院事務部経営課、事務局介護保険課の2名の情報管理員について、業務情報共有の推進	①平成29年度末までに情報交換会を6回開催	D	①ICT推進委員会開催時に併せて4回開催(4月、9月(2回)、3月)情報管理員に特化した業務情報共有が少なかった	①より専門的な情報交換が行えるよう協議時間を確保する
②住民サービスの向上					
1 地域での医療・介護・福祉・保健の連携体制づくり【担当部署:事務局介護保険課】					
1. 隠岐圏域地域包括ケアシステム推進委員会の開催	①隠岐圏域地域包括ケアシステム推進委員会の開催	①平成29年度末までに推進委員会を5回開催	B	推進委員会を4回開催、先進地視察を1回実施した検討事項のうち、I人材確保・離職防止及び育成、II介護サービスの基盤の充実についての提案策をまとめ、提案書(中間報告)を作成し、島前・島後の2会場で事業所との意見交換会を実施した	平成30年度末までに推進委員会を5回開催 検討事項、III介護予防事業の充実、IV保健・医療・介護(福祉)の連携について提案策を作成 引き続きI、IIについて検証し、場合によっては修正等していく
2 外来待ち時間対策【担当部署:隠岐病院】					
1. 待ち時間環境整備アンケート調査の実施	①待ち時間環境整備アンケート調査の実施及び検討会議の開催	①平成29年12月までにアンケート及び検討会議を1回開催	C	①患者満足度調査を実施:1回 ・調査結果をもとに接遇向上委員会にて検討	現在は患者満足度調査として実施していることから、待ち時間に特化した調査の実施について検討する
2. 待ち時間の環境整備	①待ち時間環境整備アンケートの結果に基づき、検討会議において待ち時間環境整備対策計画を作成、実施	①平成29年度末までに対策計画に基づき、対策案を実施	D	①接遇向上委員会にて検討し対策を実施した ・現在診察中の患者の予約時間の表示	電子カルテシステムの更新により新たな対策を行ったので、効果の検証及びその他の対策案について検討する
3 健診・ドック等予防医療の推進【担当部署:隠岐病院】					

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成29年度）

（1）組織・機構の見直し

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H29)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
1. 疾病の予防医療に関する正しい知識の啓発活動	①医々とも座談会において啓発活動を実施 ②隠岐病院広報誌「まめなかの」	①平成29年度末までに啓発活動を2回実施 ②平成29年度末までに啓発活動を2回実施	B	①医々とも座談会の定期開催終了により未実施 ②広報誌「まめなかの」によりドック・健診の啓発活動を実施:1回 ③特定健診啓発強化月間を設定して、院内での啓発活動実施:10月に実施	当院だけの取り組みに終わらず、隠岐の島町と連携し啓発活動に取り組む

評価

- A: 計画通り実施され、相当程度の効果があった
- B: 計画通り実施され、一定程度の効果があった
- C: 計画通り実施されたが、効果が薄かった
- D: 計画の半分程度しか実施されなかった
- E: 計画がほとんど実施されなかった

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成29年度）

(2) 健全な財政運営

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H29)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①財源の確保					
1 遊休資産の活用【担当部署:事務局総務課】					
遊休資産活用検討委員会の開催	①遊休資産活用検討委員会を開催し遊休資産活用計画を策定 ②遊休資産活用計画の推進	①H29年度〇月末までに活用計画を策定 ②H29年度末までにH29計画の推進	E	①遊休資産活用検討委員会を開催(8月) 事務局総務課において活用案の検討指示あり 事務局総務課において活用(案)を作成(H30.3月) (旧消防庁舎、旧空港管制塔、仁万の里旧生活居住棟、いずれも周辺の安全管理を行い、概ね5年程度は現状維持)	①H30に遊休資産活用計画を策定
2 介護保険料未収金対策の強化【担当部署:事務局介護保険課】					
1. 定期的な訪問徴収の実施	①定期的な訪問徴収の実施	①H29年度末までに訪問徴収を6回実施(目標収納率:99.3%)	B	平成29年度は、庁内での訪問徴収を6回、介護保険課担当者の訪問徴収を毎月実施した 平成29年度介護保険料収納率は、99.5%と目標を達成した	庁内での訪問徴収を6回実施 目標収納率99.3%
3 適正な診療報酬の算定【担当部署:隠岐島前病院】					
1. レセプト請求業務に関する研修会の開催	①研修会の開催	①H29年度末までに研修会を1回実施	B	安来市立病院より、講師を招いて研修会を行った。また、当院の状況についても把握してもらい、次年度以降の勉強会の在り方について協議している。	研修内容を協議しながら、引き続き実施する。
2. 施設基準等に係る診療報酬届出事務に関する研修会の開催	①研修会の開催	①H29年度末までに研修会を1回実施	B	外部研修に参加した者を中心に、医師全員と各部署の代表者において、研修会等を開催した。	引き続き実施する
3. 院内会議(査定率等の報告)の開催	①院内会議(査定率等の報告)の開催	①H29年度末までに院内会議(査定率等の報告)を12回実施	A	毎月第2火曜日に12回/年 実施した。	引き続き実施する。
4 適正な診療報酬の算定【担当部署:隠岐病院】					
1. 保健医療適正運用委員会(医師含む)の開催	①委員会の開催	①H29年度末までに委員会を12回実施	E	①委員会を実施しなかった。 ①診療報酬改訂前年であり、新たな診療報酬への対応について各部署にて検討を行った。 ①外部機関を活用しレセプト分析を行った。	適正な診療報酬の算定に向け、更なる分析を行い委員会を開催して取り組みを行う。
2. 医事係職員による医療従事者向け診療報酬勉強会の開催	①勉強会の開催	①H29年度末までに勉強会を2回実施	B	①診療報酬改訂に対する職員研修会を開催:年3回	①職員全体の診療報酬に対する知識を深めるため、職員向けの勉強会を開催する
3. 医局会議(査定率等の報告)の開催	①医局会議(査定率等の報告)の開催	①H29年度末までに医局会議(査定率等の報告)を12回実施	B	①毎月1回開催の医局会において査定率の状況及び査定内容の報告を実施した。	①査定率の高い状況が続いていることから、更なる取り組みが必要であり、査定分析を行い対応を検討する

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成29年度）

(2) 健全な財政運営

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H29)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
5 未収金対策の強化【担当部署:隠岐病院】					
1. 退院精算連絡票の活用	①すべての入院患者へ、退院時に退院精算連絡票を活用	①すべての入院患者へ、退院時に退院精算連絡票を活用	B	①すべての入院患者に対して退院精算票を活用することにより未収金の発生抑制に取り組んだ。	退院精算票及び当日未支払者への誓約書記載の継続外来未収金対策について発生の抑制策を検討する。
2. 定期的な訪問徴収の実施	①定期的な訪問徴収の実施	①H29年度末までに訪問徴収を6回実施(目標:過年度未収金残高2%削減)	E	①訪問徴収を実施しなかった。 ☆過年度自費未収金残高削減実績:1%増	①未収金回収の運用を明確にし、徴収強化月間を設定して訪問徴収を実施する。
②経費削減					
1 勤務時間の弾力的な運用【担当部署:事務局総務課】					
1. 時差出勤制度の導入の検討	①時差出勤制度の導入の検討	①平成29年度末までに制度導入の検討	B	①隠岐病院の早朝外来受付業務において導入	①今後も他業務への導入検討
2. 時差出勤制度の実施	①時差出勤制度の実施	①平成31年度以降実施及び検証	B	①隠岐病院の早朝外来受付業務において実施	①今後も他業務への導入検討、実施
2 業務委託内容(仕様書)の検証及び診療材料の縮減【担当部署:隠岐病院】					
1. 業務委託検討委員会の開催	①業務委託検討会議の開催 ②業務委託内容(仕様書)の検証	①平成29年度に検討会議を2回開催 ②業務委託内容(仕様書)の検証	D	①業務委託検討会議は開催しなかった。 ②各種委託契約の内容見直しを担当部署において実施し、業務範囲の見直し及び委託料の見直しを実施した。	継続的に業務委託の内容検証を行うとともに、新たな委託等の必要性について検討する。
2. 薬事委員会の開催	①薬事委員会の開催 ②後発医薬品の推進	①平成29年度末までに薬事委員会を6回開催 ②後発医薬品の採用状況	D	①薬事委員会の開催は4回 ②後発薬品採用数210品目(H28)→240品目(H29)	①薬品の購入手法について新たなガイドラインが発出されたことから、購入手法の見直しを行う。 ②後発薬品の採用率が低い状況にあることから、採用率の向上に向けた取り組みを行っていく。
③施設の整備及び管理					
1 指定管理施設(超高速船レインボーJ、フェリーおき、レインボープラザ及びび仁万の里)の適切な管理運営【担当部署:事務局総務課】					
1. 指定管理者評価委員会の開催	①評価委員会の開催	①平成29年度末までに各評価委員会を1~2回開催	B	①「超高速船レインボーJ、フェリーおき指定管理者評価委員会」2回開催(1回は出席者不足により参考会議)、「び仁万の里指定管理者評価委員会」1回開催	①評価項目等の見直しを行いながら、定期的に評価委員会を開催する

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成29年度）

（2）健全な財政運営

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H29)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
2. 評価結果に基づく要望書の提出	①評価結果に基づく要望を各指定管理者提出、改善を求める	①平成29年度末までに要望書を1～2回提出、改善を求める	B	①隠岐汽船㈱に2回提出、社会福祉法人博愛に1回提出	①評価結果に基づき定期的に要望書を提出し改善を求める
2 消防庁舎及び職員宿舎の施設整備【担当部署:消防本部】					
1. 消防庁舎(分署(西ノ島町)、海士出張所)整備方針検討	①庁舎整備検討会議の開催	①平成29年〇月までに検討会議を1回開催	E	①庁舎整備検討会議が開催できなかった。(消防長による署所あいさつ回り時に町長(首長等)に現状説明実施)	①西ノ島町、海士町において役場庁舎建設計画が進行中であるため、各町の中期財政計画等を踏まえ、H30年度に協議する。
2. 職員宿舎の確保	①庁舎整備検討会議の開催(構成町村等公営住宅活用協議)	①平成29年〇月までに検討会議を1回開催(構成町村等公営住宅活用協議)	D	①庁舎整備検討会議が開催できなかった。(消防長による署所あいさつ回り時に町長(首長等)に町営住宅使用依頼実施)	①各町村等の公営住宅活用、既存の待機宿舎改修等、効果的に消防吏員宿舎が確保できるようH30年度に協議する。

評価

- A:計画通り実施され、相当程度の効果があった  
 B:計画通り実施され、一定程度の効果があった  
 C:計画通り実施されたが、効果が薄かった  
 D:計画の半分程度しか実施されなかった  
 E:計画がほとんど実施されなかった

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成29年度）

(3) 定員管理

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H29)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①職員定数の適正化					
1 行政職職員定数の適正化【担当部署:事務局総務課】					
1. 職員配置計画を策定し、適正な人員を配置	①職員配置計画を策定	①H29年度5月末までに職員配置計画を策定	B	①職員配置計画を策定(4月)	①同時期に職員配置計画を策定
2. 計画的な職員採用	①職員採用計画を策定	①H29年度5月末までに職員採用計画を策定	B	①職員採用計画を策定(4月)	①同時期に職員採用計画を策定
2 看護師及び医療技術職員定数の適正化【担当部署:隠岐島前病院】					
1. 職員配置計画を策定し、適正な人員を配置	①職員配置計画を策定	①H29年度5月末までに職員配置計画を策定	C	①人員配置計画を策定したが、必要人員の再検討を実施中であり見直しの必要性がある。	職場の状況に応じた必要配置人員の見直しを行う。
2. 計画的な職員採用	①職員採用計画を策定	①H29年度5月末までに職員採用計画を策定	C	①人員配置計画に基づく採用計画となるが、必要人員の配置計画の見直しによって再検討が必要である。	見直しを行った人員配置計画に基づく採用計画を策定する。
3 看護師及び医療技術職員定数の適正化【担当部署:隠岐病院】					
1. 職員配置計画を策定し、適正な人員を配置	①職員配置計画を策定	①H29年度5月末までに職員配置計画を策定	C	①人員配置計画を策定したが、必要人員の再検討を実施中であり見直しの必要性がある。	職場の状況に応じた必要配置人員の見直しを行う。
2. 計画的な職員採用	①職員採用計画を策定	①H29年度5月末までに職員採用計画を策定	C	①人員配置計画に基づく採用計画となるが、必要人員の配置計画の見直しによって再検討が必要である。	見直しを行った人員配置計画に基づく採用計画を策定する。
4 消防職員定数の適正化【担当部署:消防本部】					
職員定数の適正化	①職員配置計画を策定	①H29年度末までに職員採用計画を策定(検討会議を3回実施)	E	①海士・知夫両出張所における救急隊員3名乗車体制を実施するためなど、消防力強化のための見直しを勘案して職員配置案を作成中	H30年度に職員採用計画を策定する

評価

- A: 計画通り実施され、相当程度の効果があった
- B: 計画通り実施され、一定程度の効果があった
- C: 計画通り実施されたが、効果が薄かった
- D: 計画の半分程度しか実施されなかった
- E: 計画がほとんど実施されなかった

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成29年度）

（4）人材育成・確保の推進

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H29)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①人材育成					
1 職員のレベルアップ【担当部署:事務局総務課】					
1. 研修計画の策定	①研修計画の策定	①H29年度〇月末までに研修計画を策定	B	①研修計画を策定(H29.3月)	①同時期に研修計画を策定
2. 各種研修会の参加	①自治研修所等で開催する研修への参加促進 ②隠岐地区で開催される研修への参加促進	①5名程度の参加 ②業務に支障をきたさない範囲で可能な限り参加	B	①自治研修所研修への参加(7名受講) ②隠岐地区開催研修(人権同和問題研修)への参加(36名受講)	①計画に基づき研修会への参加 ②計画に基づき研修会への参加
3. 情報通信技術を用いて行う研修への参加	①e-ラーニング研修への参加促進	①業務に支障をきたさない範囲で可能な限り参加	B	①e-ラーニング研修の実施(35名受講)	①e-ラーニング研修への参加継続
2 人材育成【担当部署:隠岐島前病院】					
1. 院内会議の回覧周知	①経営状況等資料を各部署へ回覧し情報を共有化	①H29年度末までに資料回覧を12回実施	A	毎月第2火曜日に12回/年 実施した。	継続して実施する。
2. 経営講習会等	①研修会の開催	①H29年度末までに研修会を2回実施	D	研修会の実施に至らなかった。	全体の研修会は、困難なため、各部署(個別)毎に実施できるよう計画を見直す。
3 全職員参加型の経営管理手法の導入【担当部署:隠岐病院】					
1. 経営改革計画の実施	①計画の実施	①H29年度末までにH29計画の実施	D	①経営改革計画の策定完了に至らなかった。	平成30年度中に完成させ、全職員を対象に新公立病院改革プラン及び隠岐病院経営改革計画の周知及び経営研修会を開催する。
2. 院内会議の回覧周知	①経営状況等資料を各部署へ回覧し情報を共有化	①H29年度末までに資料回覧を12回実施	B	①毎月1回管理職会議にて経営状況の報告を行い、収益増及び経費削減の取り組みのポイントを説明	経営状況の報告については継続していくが、内容を更に検討する。
3. 経営改革推進委員会の開催	①委員会の開催	①H29年度末までに委員会を1回実施	E	①経営改革計画が策定できなかったため開催していない。	平成30年度中に経営改革計画を完成させ、委員会を開催して取り組みを実施していく。
4 QC活動(小グループで業務改善等を行う活動)の推進【担当部署:隠岐病院】					

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成29年度）

（4）人材育成・確保の推進

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H29)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
全員参加型のQC活動を実施	①QC活動及びQC活動発表会の実施	①H29年度末までにQC活動及びQC活動発表会を実施	A	①QC活動の実施と発表会を開催し業務改善に取り組んだ。	今後も継続してQC活動に取り組んでいく。
<b>5 職員のレベルアップ【担当部署:消防本部】</b>					
1. 職員のレベルアップ	①自治研修所、消防学校等で開催する研修への参加促進 ②県内開催の災害訓練等への参加促進 ③消防本部内等において受講職員を講師とし、フォローアップ研修の開催	①H29年度〇月末までに研修計画を策定、実施 ②H29年度末までに災害訓練等への参加 ③H29年度末までにフォローアップ研修の開催	B	①消防学校で開催する研修計画を作成。 ②災害、研修に参加した。(8名) 中四国ブロック緊急援助隊訓練参加(安来市)、化学車隊員5名・スタッフ3名参加。 ③フォローアップ研修15回 救急訓練75回	①自治研修所、消防学校で開催する研修への参加促進 ②県内開催の災害訓練等への参加促進 ③消防本部内等において受講職員を講師としてフォローアップ研修の継続
<b>②人材確保</b>					
<b>1 島の医療人育成センターの設立【担当部署:隠岐病院】</b>					
1. 情報発信	①島の医療人育成センターの活動状況等をSNSで情報発信 ②島の医療人育成センターの活動状況等を広報で情報発信	①平成29年度末までにホームページ、フェイスブック等で6回情報発信。 ②平成29年度末まで広報を2回発行	C	①ホームページに島の医療人育成センターのページを作成し情報発信を始めた。 フェイスブックの設定は完了したが投稿は未実施。 ②センター広報誌「センターだより」については、活動状況等をまとめてからの発行とすることにし、平成30年度から実施することとした。	フェイスブック投稿やセンターだよりをはじめとする各種媒体を活用して情報発信を積極的に行っていく。
2. 初期臨床研修医の受入態勢の強化	①派遣医療機関の拡大 ②受入研修医師の拡大	①平成29年度末までに派遣医療機関を5機関受入れ ②平成29年度末までに受入研修医師を24名受入れ	A	①平成29年度初期研修医派遣元医療機関数:10病院 ②毎月2名の初期研修医の受入れを実施	引き続き毎月2名の初期研修医の受入れを行うが、選ばれる病院となるために、研修内容等の充実を図る。
3. 専門医制度の研修受入体制の構築	①総合診療専門医研修プログラムの策定 ②総合診療専門医の受入	①平成29年度末までに総合診療専門医研修プログラムの策定 ①平成30年度以降実施及び検証	B	①専門医研修プログラム連携病院の登録:総合診療(県中・島大)、外科(県中・島大、大阪市立総合医療センター)、麻酔科(島大)、精神科(こころの医療センター、島大) ②連携病院として登録したが、詳細の受入体制について整備できていない。	後期研修医の受入について整理をし、平成31年度受入に向けて準備する。

評価

- A: 計画通り実施され、相当程度の効果があった  
 B: 計画通り実施され、一定程度の効果があった  
 C: 計画通り実施されたが、効果が薄かった  
 D: 計画の半分程度しか実施されなかった  
 E: 計画がほとんど実施されなかった